

美 原 区



黒 姫 山 古 墳

美原区は、飛鳥時代の難波宮と飛鳥京を結ぶ日本最古の官道といわれる竹内街道に北端を接し、日本書紀に黒山の地名が見られるように、大和朝廷の時代から、和泉（堺）と大和（奈良）を結ぶ交通の要衝として、繁栄してきました。

中世・鎌倉時代には、河内鋳物師と呼ばれる鋳造技術者集団が、東大寺再興や鎌倉大仏の鋳造などで活躍し、今なお全国の鋳物師発祥の地として伝えられています。

明治初年、廃藩置県により堺県に属し、堺県の廃止に伴い大阪府に属し、明治 22 年の町村制によって、黒山村、平尾村、丹南村、南八下村、丹比村に編成されました。その後、地勢・産業・風俗・文化の各分野で共通している黒山村、平尾村、丹南村が、昭和 31 年 9 月に町村合併促進法に基づいて合併し、「美原町」が誕生しました。

昭和 32 年 4 月に美原町丹南が松原市へ、南大阪町（現羽曳野市）多治井が美原町へとそれぞれ変遷があり、続いて、昭和 33 年 7 月に南八下村の大饗、小寺、菩提が美原町に編入し、現在の美原区域が形成されました。

その後、平成 17 年 2 月に合併により美原町は堺市に編入されました。そして平成 18 年 4 月に堺市の政令指定都市移行に伴い美原区となり、現在に至っています。

美原区は、市域の東部に位置し、北は松原市、南は大阪狭山市、東は羽曳野市と富田林市に接しています。

区内には、狭山池を水源とする東除川、西除川の両河川が南北に流れており、これらの河川に沿って農耕地が開け、南東から北西に向けてなだらかに傾斜する比較的平坦な地形となっています。

美原区役所

〒587-8585

堺市美原区黒山 167 番地 1

（企画総務課）

Tel 072-363-9311

Fax 072-362-7532

初芝駅からバス約 25 分

新金岡駅からバス約 30 分

（南海バス停 美原区役所前）

河内松原駅からバス約 25 分

（近鉄バス停 美原区役所前・
美原区役所東口）

構 造：RC

（地下 1 F・地上 6 F）

敷地面積：8,815.28 m²

建築面積：3,096.20 m²

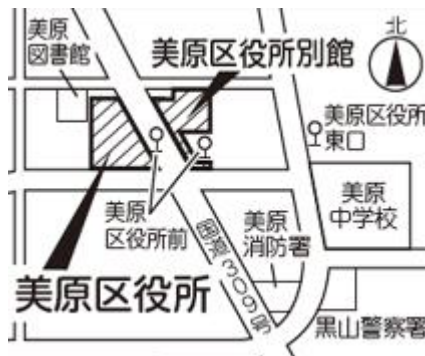
延床面積：9,446.77 m²

（区 役 所 3,384.28 m²）

（文化会館 6,062.49 m²）

駐車場：来庁者用 139 台

公 用 15 台



面積 13.20 km²

人口 36,432 人

世帯数 15,382 世帯

（令和 7 年 4 月 1 日現在）





区域の特色・資源

●豊かな歴史・文化と田園風景のある地域

美原区の歴史は古く、24領の鉄製甲冑が出土した黒姫山古墳をはじめ、中世の鑄造技術者集団「河内鑄物師」のふるさととしても知られています。また、農村地帯を基調にした地域として、今なお都市圏に珍しい田園や集落、里山が残っており、菅生地区における植木生産をはじめ、地域の緑化に貢献しています。



●こどもが健やかに育ち、人と人のつながりがある地域

美原区には、黒山、平尾、美原北、八上、美原西、さつき野の6つの小学校区があります。校区ごとに、青少年健全育成やスポーツ振興、防犯、交通安全、美化活動、自主防災組織活動など、多岐にわたる住民自治活動が取り組まれています。特に青色防犯パトロール隊、こども見守り隊、こども110番の家、青少年犯罪防止パトロールなどは、PTAや自治会、各種団体、ボランティアグループなどが中心となって盛んに活動しています。また、他区にはない消防団が活動しています。

美原区の魅力ある地域活性化の取組

■美原都市拠点の整備

区役所や保健センター、消防署、警察署、図書館、文化会館の行政・文化機能や、防災拠点である堺市総合防災センター、大型商業施設等が美原都市拠点に集約され、市民の利便性が向上しています。堺市との合併時に区内と市内鉄道駅を結ぶバス4路線の運行が始まり、更に近年の美原都市拠点の開発に伴い、バス路線の拡充等、交通環境も充実しています。

■田園風景と農業のある地域活性化活動

美原区には、田畑をはじめとする緑地空間等が多く残っています。これらを背景に、地産地消をテーマとして区民自らが立ち上げた「美原朝市」や、「美原の古代米」を区の魅力のひとつとして育てる「美原区古代米プロジェクト」等美原区の農業の魅力を伝える活動が積極的に行われています。

今後も、区域の特色・資源を生かしながら自然環境と調和のとれた都市機能を持つ地域活性化をめざします。

